

## 歴史要点プリント⑤

①日本では「軽工業、重工業の順に発展!」→レガレ発展順序で多くの問題が発生…  
 ②近代文化を覚えよう!(写真や文章などの作品を見ながら)

第5部 第6章 アジアの強国の中の光と影 教科書 p184~191

◎日本の産業革命…(1) 軽工業 → (2) 重工業

2段階で発展! 軽工業中心(1880年代~)

→ 重工業中心(1900年代~)

- ・(3) 繊糸業や(4) 製糸業で大工場化、機械化が進む  
 ↗これが大量生産につながるよ!
- ・綿糸紡績業: 国産綿糸生産量が輸入を上まわる
- ・製糸業: 生糸の機械生産が手工業を上まわる
- 日露戦争後に世界最大の(5) 生糸輸出国

・政府は軍需産業に力を入れる

★日清戦争の賠償金

→官営の(6) ハサウエイ鉄道設立…鉄鋼の生産

・機関車・戦艦を国産化

・交通・通信網の発達

・鉄道の開通、国有化…軍事上の目的もあった

<財閥の登場>

実業家…三井、三菱、住友、浅野、安田

→金融、運輸、貿易、鉱山などさまざまな分野の企業を経営⇒(7) 財閥

材料の↓ 金鉱石や石炭  
 を輸入して運んで販売する  
 のに更便利な場所に  
 官営企業を引き受けた

○工業の発展⇒多くの社会問題の発生

★厳しい労働条件 例) 低賃金、長時間労働

→1911年 (8) 工場法 …労働時間制限、深夜業禁止、12歳未満の労働禁止

↳ 資本主義

★社会主義運動 社会民主党結成→政府の厳しい取りしまり  
 →労働者を中心とした平等な社会を目指す考え方

★(9) 大逆事件 : 1910年、天皇の暗殺を計画したという容疑で多くの社会主義者が逮捕・処刑された事件 中心人物:(10) 幸徳秋水

→不十分な内容

「工場法は  
 地方長官の許可があれば10歳以上の子の使用  
 を認めたり、15未満の工場では通用されない」とある。

★公害問題…(11) 足尾銅毒事件

→(12) 田中正造 : 足尾銅山の銅毒被害に対して初の公害反対運動を行い、足尾銅山の操業停止や被害者の救済を訴えた

近代文化: それまでの伝統的な文化と、欧米の文化が合わさった明治時代の文化

★芸術

- ・日本画の発展に努力…(13) 横山大観 )『無我』
- ・欧米の文化を取り入れる動き 絵画…(14) 黒田清輝 )『湖畔』
- 彫刻…高村光雲『老猿』

資料集 P.63

必ず、絵画や彫刻を見て下さい!  
 古前に比べて見えるのはモチーフない!

★文学

- ・(15) 正岡子規 : 「写生」という表現方法を取り入れた俳人
- ・(16) 木暮公一葉 : 『たけくらべ』など、都市に生きる子どもたちや女性が主人公
- ・(17) 夏目漱石 : 『吾輩は猫である』、『坊ちゃん』など

★医学

- ・(18) 北里柴三郎 : ドイツに留学し、ペスト菌発見
- ・志賀潔 : 赤痢菌発見
- ・(19) 野口英世 : 中南米やアフリカで黄熱病の研究

研究中に感染して死んでしまいました。